



あたたかさ溢れる山口市～前編～

1. ええやんピープル
2. ねえねえ知っちゃう? 山口の支え人
3. みんなで守ろう! ゲンジボタル
4. レシピ/さぼらんてってどんなところ?

みんなが主役! 誰もが心豊かに暮らせるまち山口市を目指して、はじめの一步を応援する市民活動情報紙

ええやんヒーロー

誰かのために 何かのために 活動している人をご紹介します

Vol.30

LAWAKU(楽和空)代表

酒向 淳子さん

1975年生まれ、山口市出身在住。夫と子ども3人の5人暮らし。食物栄養科卒業後、病院に栄養士として勤務。食品会社に転職し出産後に退職。子育てをしながらNPO法人あつてで働く。2020年3月に山口市湯田でLAWAKUを開業。



Photo/クワシー 優子

山口市の魅力を 受け継いでいく

「食」に関わる仕事が好き、栄養士である私は、食べるのが好き、作るのが好き、とにかく食が大好きです。そして栄養士としての仕事も大好きなんです。しかし、妊娠出産を経てやむなく仕事を退職しました。その後、子育てをしながらNPO法人あつての理事を8年務め、子育て中のママに向けた情報配信や女性の就職支援に関わるようになってきたことがきっかけで、新しい仕事にチャレンジしようと思ったんです。経営を学ぶため、山口大学に行き、自分のできることを見つけ直し、ビジネスコンテストに出場し、起業と、すぐに動き始めました。日本らしさが魅力の山口市で、私にできることは、「食」に関わることで山口市の魅力発信、和文化体験だとかえ、無添加無着色のナチュラル和菓子体験、着物体験、茶道体験のできるLAWAKUをオープンしました。

※外国人が日本に観光に来ると

1. 無添加無着色にこだわった「ナチュラル和菓子」で地域活性化も
2. 和の良いに親しむ着物体験が外国人観光客に人気
3. 誰でも気軽に楽しめる「おきり」づくり体験

LAWAKU
住 所 山口市下市町13-45
T E L 083-902-6454
H P https://www.lawaku.yamaguchi.jp/

「和」に親しみ、「和」を楽しむ空間、和菓子作りや茶道、和装付けなどの和文体験を提供しながら、山口市の魅力を広く発信している。

た。しかし、オープンと同時にコロナが流行し始めたことから厳しい状況に陥り、数か月前から入っていた体験の予約は次々とキャンセルになり、イベントなどが中止に。従業員もいるのに予約がない状況になってしまったんです。でも諦めるっていうことは絶対にしたくなかったんですよ。厳しい状況でも諦めなかったのは子どもたちが居たからだと思います。子どもたちには、弱音を吐く駄目な姿などありのままの自分を見せているけど、私が好きなことをやるって決めて頑張っている姿や、チャレンジし続ける姿も見せたかったです。

とにかくどうにかしなければと、通販やカフェを始め、YouTubeやSNSも活用したんです。その時より支え人になったのが、地域の方が和菓子を買ってくれたり、口コミで宣伝してくださったことです。そのおかげで、仕事は順調に進み、米店も増えていきました。

山口市民のあたたかさ

厳しい状況だった時にお店を気にかけて支え応援してくれたのは地域の方たちでした。商売をするのは初めての経験ですが、地域の方がいるのは初めて教えてくださったんです。仕事はひとりではできないし地域のつながりも大事。それが山口市だからこそできたと思っています。子育てでもそうですよ。ひとり育てていたら行き詰まったり参ったりしていたかも知れませんが、NPOに携わったことでいろんな方とつながりました。そつと寄り添って話を聞いてくれる、そんな優しく接してくれる方たちとの出逢いがあり、ひとりじゃないんだって思えたし、前向きにもなりました。私は、子育ても仕事もうまくいかなかったことが多く、壁にぶつかることもありますが、いつもまわりの方が助けてくださいます。

子育てや仕事をする中で、助けてくださった寄り添ってくださったりと、山口市民の人の良さやあたたかさを感じています。また、山口市の魅力である日本らしさや人のあたたかさも伝え、受け継いでいきたいと思います。



おいもスイーツ 焼き芋お手軽アレンジレシピ

- 材料 1人前
- 市販の焼き芋 1/2本
バター 10g
砂糖 大さじ1
バニラアイス 適量
- 作り方
1. 焼き芋を縦長半分に切る
 2. バターを耐熱容器に入れて電子レンジで20秒加熱する
 3. 焼き芋の皮を下にしてフォークで穴をあけ、2をかけて染み込ませる
 4. 表面に砂糖をまぶし、砂糖のついた方を下にしてフライパンで溶かし焼き目をつける
 5. 皿に焼き芋とアイスをのせてできあがり

湯田温泉を訪れた観光客や市民の交流の場となっている複合飲食店「こんこん山」。そこで焼き芋屋を営む森重久美子さんにお話を伺いました。

いくつかの職業を経て、創業塾に行ったことをきっかけに、「いろんな居場所を作りたい! 笑顔にしたい!」という思いから、自分の大好きな焼き芋を使ったお店にたどり着きました。駄菓子屋をやりたいかった親戚と一緒に店舗を持つことをしていた夫婦とコーヒー好きの夫が合流して、複合飲食店の形になったんです。でも、そのおかげでいろんなお客様との出会いに恵まれ、本当に嬉しく思います。

初めての飲食業を経験し、商売していく中では戸惑ったり、時に考え込むこともありましたが、「おいしかった! ありがとう!」の音が聞けたことに救われました。多少困ったことがあっても「ええじゃないか精神」で乗り越えてくれたのは、地域のみなさん、お客様などの「人の思いや優しさ」に支えられているからだだと実感し、感謝しています。

今後は地域のみなさんにカフェを開放したり、少人数で講座を開いたりしたいですね。観光地としてはもちろんですが、集まったりはもがそれぞれ刺激を受け合い笑顔になれる、そんな場所にしていきたいです!

バターを染み込ませるとしっとり感が増すよ!

キャラメルゼスれば、スイーツの味わいを手軽に楽しめるよ! 甘みの強いシルクスイートや紅はるがおすすめ!

【取材協力・レシピ提供】
こんこん山
住 所 山口市荻町1-8
U R L https://www.instagram.com/konkon_yama



左から konoka crepe 店長・廣澤学さん(第・DIY 担当)、廣澤広子さん(義妹・調理担当)、和つと子店長・森重久美子さん

さぼらんてってどんなところ?

さぼらんては山口市中心商店街にある山口市の施設です。誰もが住みやすいまちを目指し、みんなの幸せを考え、市民や団体をサポートしています!

多目的トイレ

広くて使いやすいトイレはオムツ替えシートもありお子連れでも安心♡

総合受付

お困りごとがあればお気軽にお尋ねくださいね♪

授乳室

パパも一緒に入れますよ! 調乳用のお湯もご準備しています

ボランティア掲示板

ボランティアをしたい方は要チェック! 専用Instagramもご覧ください

市民活動情報

団体のパンフレットやイベント情報がたくさんあります!

登録団体のイベント情報やボランティア募集はホームページやLINE公式アカウントでも発信中!

クイズに答えてLAWAKUの「チョコッー」をもらおう

ハガキまたはメール、もしくは右のQRコードより以下を明記のうえ、さぼらんてまで応募ください。

1. お名前・郵便番号・ご住所・年齢・職業・電話番号
2. クイズの答え
3. ええやん新聞を手に入れた場所
4. ええやん新聞30号へのご意見、ご感想
5. 取り上げてほしいテーマ、市民活動団体

※ご記入いただいた個人情報は、その目的以外での利用いたしません。

チョコレートのまち山口市の魅力を発信したいと開発された、トラフグコーラー入りの琥珀糖です。

10名様

締切 2024年 12月26日

※当日消印有効。当選発表は引換券の発送をもって代えさせていただきます。

市民広報記者編集後記

週に一度「市民広報記者」としてええやん新聞の制作に関わるのは、子育て中のママたち。誰かのためにと頑張っている人や団体を取材し、その感動を市民に届けています。

「の坂川のゲンジボタルは何に指定されているのでしょうか?」

関光 ホタルの採取に初参加。ホタルが美しく舞う姿はほんのり子どもたちが驚きを見つめていました。採取している姿に感動。そして、長年ゲンジボタルを守ってきたらしている方々のあたたかさを感じました。

吉田 地域活性化のために、スポーツを通して社会連携活動(チャレンジ活動)をされているツカキチームが山口にあることを知り、多くの方々に支えたいと思いました。

桑重 デビュー記事を書かせていただいた「こんこん山」さんはあたたかくて、懐かしさや思い出が溢れる場所です。土曜日の地域情報にも参加し、森重さんをはじめ、働いてるみなさんの人柄がやばい魅力だなと感じました。

さぼらんてのタイムズ紙になさるは、山口市を筆頭に山口市のあたたかさを紙面に詰め込みたいと思ってきました。山口市の体面に加わりたいなという気持ちです。

みんなで守ろう！ ゲンジボタル

山口市の一の坂川では、毎年5月下旬から6月初旬にかけてたくさんホタルが飛び交う美しい景色が見られます。その裏には、ホタルを大切に守り育ててくれている人たちがいることを知っていますか？

一の坂川には、どうしてホタルがたくさんいるの？

大殿小学校の子どもたちを中心に、地域ぐるみでホタルの人工飼育をしているからなんですよ。

それはいつからですか？

1987年から続いていて、私たちの会や地域の人がお手伝いをしています。

大殿小学校のみんなは、こんなことをしていますよ。

ホタルの学習

3年生が授業でホタルについて学習します

同田さんのお話を聞く時間

メス採取

5月下旬に人工飼育のためメス100匹を採取します

一の坂川のゲンジボタルは天然記念物に指定されているから許可がいるんだよ

カワニナ採り

幼虫のエサになる「カワニナ」を一の坂川に採りに行きますよ

幼虫の放流

10月中旬ごろ、大きくなったホタルの幼虫を一の坂川に放流します

約13,000匹も放流するんだよ！

このきれいな景色が見られるのは、ホタルを守り育てている人たちのおかげなんだね

来年も再来年もこの景色が見られるように、私たちも何かできることをしたいね

これからも地域みんなでホタルを守っていきましょう

[取材協力]

大殿ホタルを守る会
会長 福永俊明さん
事務局 山口市下野小路12(山口ふるさと伝承総合センター内)
電話 083-928-3333
URL <http://y-densho.sblo.jp/>

1991年に大殿小の児童の活動を支えるために結成。学校・地域・行政と連携し、川の清掃、人工ふ化、飼育、エサやり、幼虫の放流などホタルを守るための活動をしている。

来年もきれいな景色を見せてね★

企業が支える！

サッカーチームを運営する企業に聞きました

山口県の小中学生の体力テストの結果は、全国でも最下位レベル。そこで、地域の方や企業の困りごとが解決に向かうようにと日々活動している私たちは、今年6月から子どもの体力を上げていく取り組みを、県と1リーグのタイトルパートナーである明治安田と一緒に始めました。

体力の向上は子どもたちの活力になると考えているので、単に数値を上げるのではなく、運動に興味を持つこと、体力アップにつなげることを目的にしています。具体的には、学校で行われる体力テスト時に、レノファ山口FCの選手と運動指導員が学校を訪問して指導しています。まず、選手がシャトルランや立ち幅跳びのお手本を見せるのですが、プロの動きに子どもたちからは毎回歓声が上がります。続いて、子どもたちが体力テストを行う際には、選手が激励したり、コツを教えたり。休憩中も子どもたちは選手を囲み、いろいろ質問をしたりしながら和気あいあいと過ごしています。

運動が苦手で興味がなかった子どもたちから「意欲が高まり、興味を持つことができた」「選手のように努力をしていきたい」などの感想が寄せられ、先生方からも「生徒がイキイキしている」「測定値が上がった」といった声をいただいています。また、日頃中学生と関わることが少ない選手は、訪問当初は緊張していましたが、子どもたちが気軽に話しかけてくれるので、元気をもらえているようです。お互いに良い影響が見られ実施して良かったです。

地域を元気にしていきたい！支える側になりたい！地域に必要な存在になりたい！そんな思いを胸に、サッカーファン以外の方との接点も積極的に増やしています。心をつなぎ、人と人をつなぎ、そして地域の一体感を高められたいですね。幅広い世代や多様な立場の方と関わりながら、山口県もレノファ山口FCと一緒に盛り上げていくことを願っています。みなさんも気軽にスタジアムに遊びに来てください。

株式会社レノファ山口
代表 渡部 博文さん
URL <https://www.renofa.com/>

団体が支える！

亀山公園の維持発展のために活動している団体に聞きました

山口市民の憩いの場である亀山公園ですが、以前は雑木雑草が生い茂り、眺望がたいへん悪く、怖ささえ感じるくらいだったんです。そこで地元有志が集まり、亀山公園を市民や観光客に愛される公園に再生しなければと、2006年に「亀山公園を愛する会」を発足しました。公園の再生に向けて、山口市と協議しながら、まず手始めに敷化した雑木・生垣などの刈り込み、ツツジや紫陽花の植樹、遊歩道や付帯設備の補修などを行い、市民の楽しめる集いの場を作りたいとの思いで、スケッチ大会の開催、さらに山口七夕ちょうちんまつりに協賛して300灯のちょうちん点灯などを 行ってきました。

このような活動の甲斐あって公園整備の機運が高まり、2018年ついに公園のリニューアル整備が完了しました。今では立派な遊歩道が完備され、展望性も抜群に改善されて、来園者に喜びと満足感を与えています。公園が明るくなり、何より安心して遊べるようになったため、子どもの明るい声や走り回る姿を見ることができるようになりました。本当にありがたい限りです。訪れた方から「きれいですね。良いところですね」等の声を聞くことも嬉しです。ボランティアとして自発的に清掃をされている方もいらっしゃいますよ。愛郷心ですね。市民活動は仕事や生活、暮らしの中にあるんだと気付かされます。

今後は誰もが安心して楽しめる公園をしっかりと維持し、より発展して行かなければなりません。諸行事の他、将来は県下有数の紫陽花公園の建設を目指します。ますます市民や観光客のみならずで賑わうことを願っています。市内が一望できる亀山公園山頂広場に、ぜひ遊びに来てください。

NPO法人 亀山公園を愛する会
理事長 吉田 正治さん
事務所 山口市後河原160

ふちええん

すてきなまちを支えているのは地域愛を持ったあたたかい人たちなんだね

山口市には地域のために動いている人がたくさんいるんだね！

誰かのために頑張っている人のように、地域のために自分に何かできることはないか、あなたもぜひ考えてみてくださいね。

山口の支え人

私たちが暮らす山口市。「西の京」とも呼ばれ、今、魅力のあるまちと注目されています。その裏側で、みんなのために陰ながら頑張ってくれている人たちがいるのをご存知でしょうか？ええん記者たちが見つけた「山口の支え人」たちをご紹介します。

山口の魅力ってなんだろう？

子育てのしやすさかな！

スポーツがさかんで活気があふね！

安心して公園が行けるあるよね

お花がきれいだよね

子どもたちが頑張っているのを見てみよう

住みやすさの裏側には「山口の支え人」の存在があるんです

緑の下の力持ち

学生が支える！

教員を目指す学生団体に聞きました

代表 相本紫苑さん

私の夢は小学校の先生になることで、地域の方々と連携して子どもたちの学びの幅を広げたいと思い、3人の同期とともに団体を立ち上げました。小・中・高校生を対象にさまざまな体験型学習の場を設けることで、子どもたちが夢や志を持つきっかけづくりを目指しています。

昨年度、初めて開催した「週末ミライ教室」では、入浴剤作りを行いました。きっかけは、新聞記事で見た「理科離れ」。重曹とクエン酸を2対1で混ぜてバスボムを作る体験を通じて、苦手な理科に興味を持ってもらおうと考えたのです。完成したバスボムが水の中で発泡する様子を見て「なぜバスボムは水に入れると発泡するの？」と驚く子どもたち。そこで、待ってましたとばかりに発泡のメカニズムなどを私たちが化学式を使って説明したりしました。開催後のアンケートでは「理科がもっと好きになった」「もの作りに興味をもった」という回答があり、やってよかったなと手応えを感じました。

また「国際交流体験会」では、山大学生と、英語の話せる学生にも協力をお願いして、異文化クイズや、大内人形作り体験などで交流しました。この国際交流の機会を設けたのは、小学校へチューターとして行ったときに、英語の授業で「英語って必要なの？海外に行こうとも思っていない」と言っている児童がいたのがきっかけでした。実際に参加した子どもたちからは「英語を聞き取るのは難しかったけど、外国人と仲良くなれて楽しかった」という感想が聞け、授業とはまた違う英語に触れて学校でも頑張ってみようと思ったようです。

今後は教育の幅を広げることや学力向上などの課題を、地域の人たちみんなと解決することに加えて、子どもたちに体験を通じたもの作りの楽しさや、人とつながることの喜びを感じてもらいたいと思っています。この体験型学習の場が子どもたちの居場所となれるよう、みんなが安心して学べる企画運営を行いたいと思っています。

3Experience
代表 相本紫苑さん
URL https://www.instagram.com/3experience_